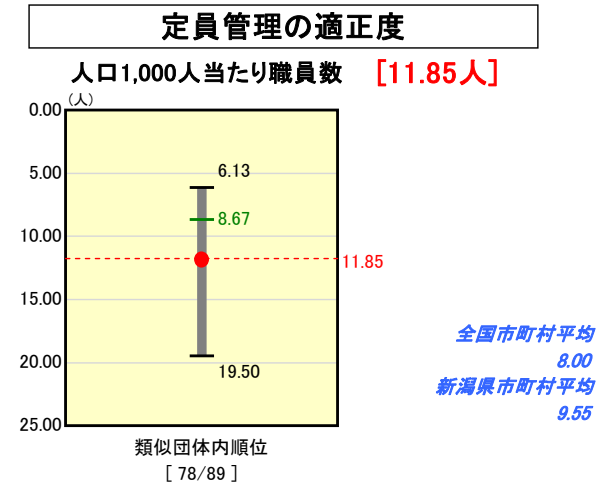
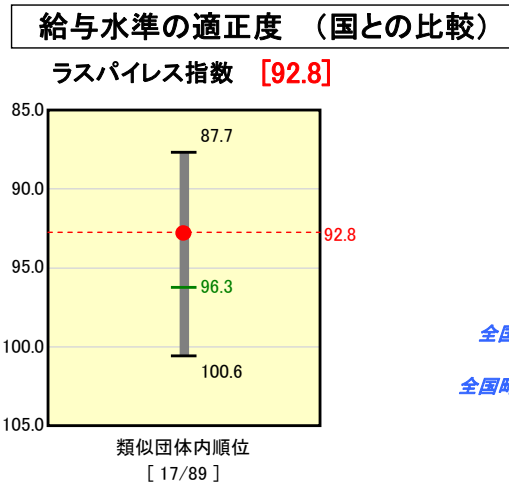
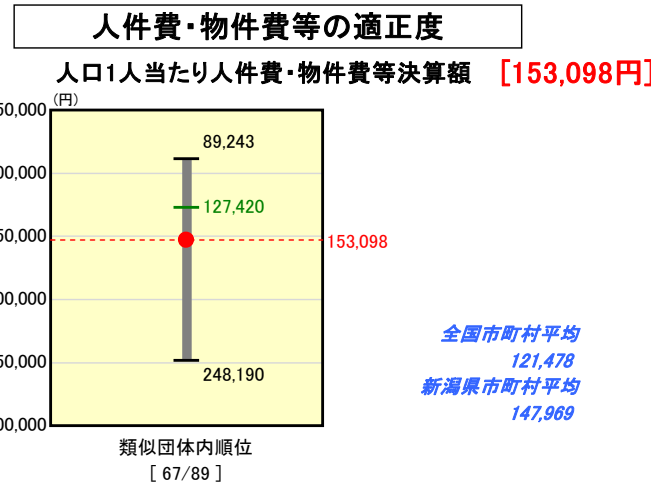
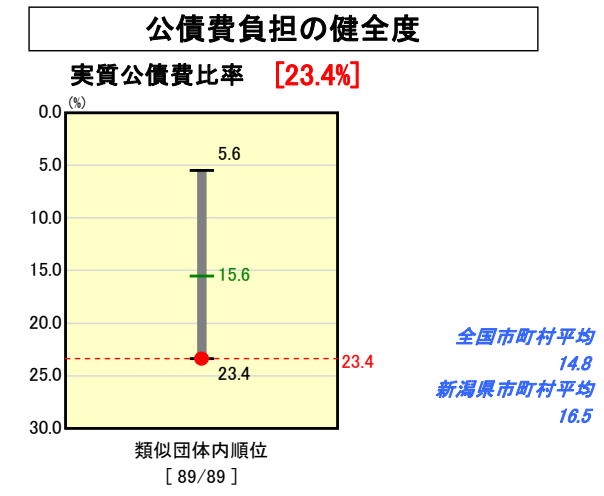
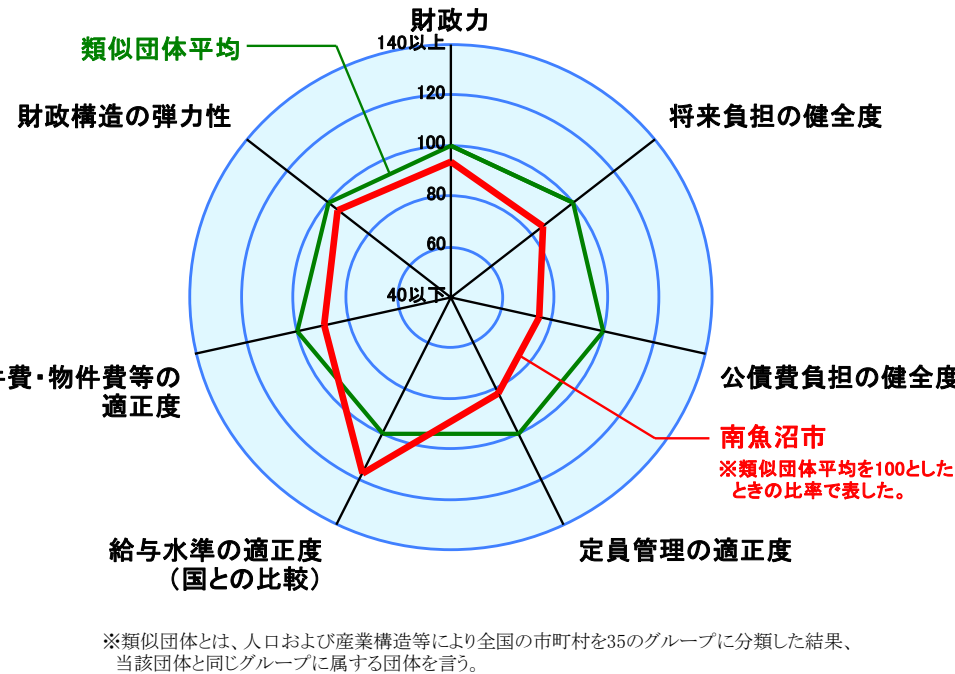
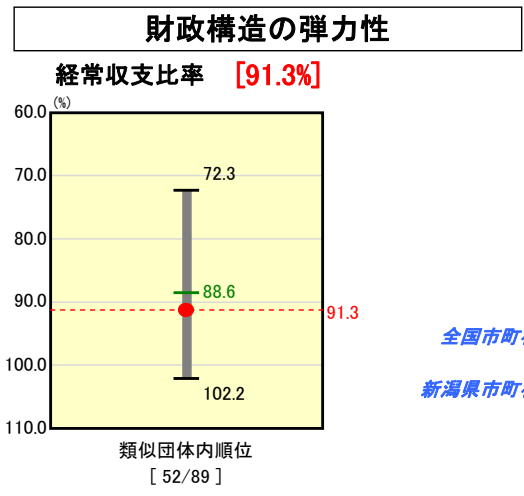
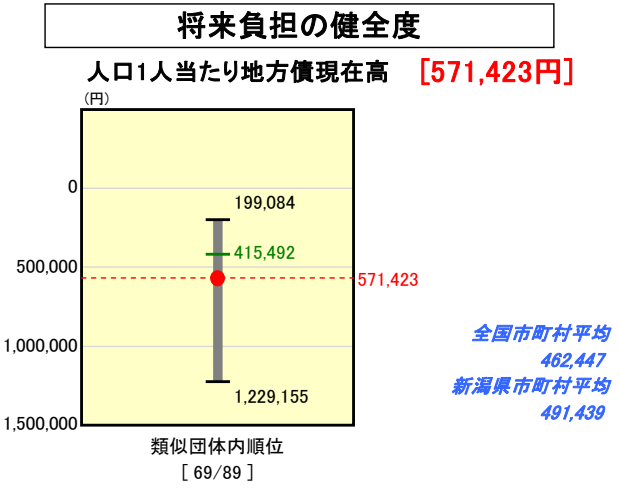
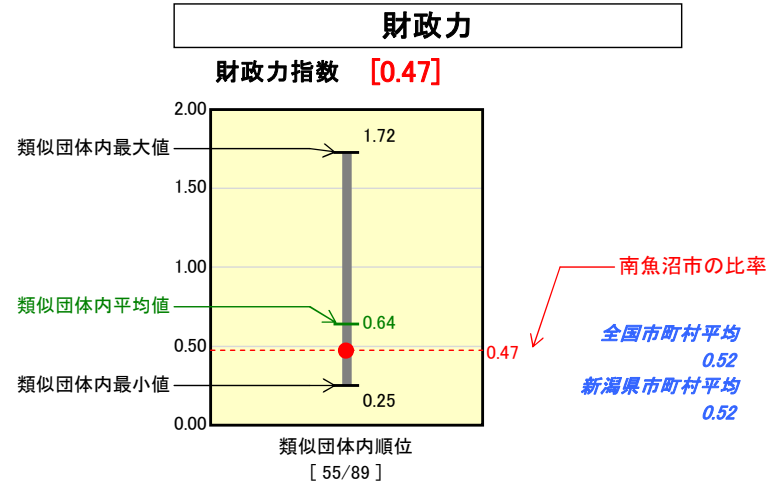


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

新潟県 南魚沼市

人口	62,869人	(H18.3.31現在)
面積	584.82	km ²
歳入総額	29,634,132	千円
歳出総額	29,126,035	千円
実質収支	396,239	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 平成17年中に塩沢町を編入合併し、南魚沼地域広域連合の解散に伴いその事務を承継した。今後とも、南魚沼市として、歳出削減、定員管理・給与のカット、地方税の徴収強化等の取組みを通じて、財政基盤の強化を図る。

経常収支比率: 扶助費、公債費、繰出金の増加によって類似団体平均を2.7ポイント上回っている。人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体を25,678円上回っている。これは一連の合併により職員数が増えたことによる人件費の増加が主な要因となっている。定員管理等を強化していく。

ラスパイレズ指数: 旧来からの給与体系や給与カットにより類似団体の中では最低水準にある。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体を上回っている。平成10年度まで学校改築等の大規模事業に積極的に取り組んできた結果である。新規発行債を償還額以内に抑制し、財政の健全化に努める。

実質公債費比率: 普通会計分は14.4%だが、上水道、下水道への繰出分がそれぞれ4.1%、4.9%となっている。公債費負担適正化計画(平成18年9月策定)により平成25年度には17.9%を目指す。

人口1,000人当たり職員数: 平成17年度の一連の合併により、類似団体を上回った。平成18年度から4年間で54人(5.1%)の削減を目指す。

南魚沼市は、平成17年10月1日に塩沢町を編入合併し、同日に魚沼地域広域水道企業団の事務を承継した。さらに平成18年3月31日に南魚沼地域広域連合を解散しその事務を承継した。こうした状況を見据え、平成17年12月に南魚沼市財政健全化計画(計画期間:5か年間)を策定、平成18年9月に公債費負担適正化計画(計画期間:平成18年度~27年度)、平成18年12月には南魚沼市集中改革プランを策定した。主な内容は、(1)人件費の抑制 (2)内部経費の徹底した削減 (3)投資的経費の抑制 (4)行政水準と市の役割の明確化 (5)特別会計への繰出金見直し (6)歳入の確保であり、5年間で約69億円の財政効果を見込んでいます。